

新生児・小児医療機器開発に関する講演会

信州メディカル産業振興会も4年目の活動となり、これまで講演会や病院見学会、技術相談などメディカル産業への参入に関わる様々な支援を行って参りました。

今回、新生児・小児医療機器開発に関する講演会を開催し、「株式会社メラン」トランゴックフック社長より医療機器開発について、「長野県立こども病院」中村友彦副院長より医療現場のニーズについてご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時

平成25年12月19日(木) 15:00～17:15
(交流会17:30～)

会場

ホテルブエナビスタ 2階 「メディアーノ」
住所: 松本市本庄1-2-1 電話: 0263-37-0111

《プログラム》

15:00～15:05 開会挨拶

15:05～16:05

講演「開発の場で多数決はタブー。“ひとり”の哲学が「ないもの」を生み出す」
株式会社メラン

代表取締役 トランゴックフック(新田一福)氏

新生児向けの人工呼吸器市場というニッチ市場で、独自の先進技術を磨き、他社が持っていない独創技術をもつオンリーワン企業のメラン社の医療機器開発についてご講演いただきます。

《株式会社メラン 会社紹介》

本社所在地: 埼玉県川口市川口2-12-18

事業内容: 医療機器、主に人工呼吸器・麻酔器・モニター関係の開発製造・販売及び輸出入業務、動物医療関連機器の製造及び販売など

未熟児向けの人工呼吸器「ハミング」は、日本の病院のNICU(新生児特定集中治療室)の約90%が採用している。

16:05～16:15 休憩

16:15～17:15

講演「国際展開を目指す日本の新生児・小児医療が今求めていること」
長野県立こども病院

副院長 総合周産期母子医療センター長 中村友彦氏

日本の小児医療、特に新生児医療は、この30年間で劇的に進歩し世界のトップクラスにあります。しかし新生児・小児で使う医療機器は「小さく、軽く、正確」であることが求められるなか、見より「大きく、重い」医療機械が取り囲んでいるのが現状です。今後、日本が新生児・小児医療の国際展開を目指すにあたり、産学官連携のものづくり企業に求める、医療現場のニーズについてご講演いただきます。

17:30～ 交流会 (会場: 14階レストラン「ソルプレーサ」)

※交流会参加者は、1人3,000円を当日会場にて頂戴いたします。



【電車をご利用の方】

中央本線、篠ノ井線、大系線、松本電鉄上
高地線松本駅下車 徒歩7分

<http://www.buena-vista.co.jp/access.html>

【お車をご利用の方】

駐車場は地下1階地下駐車場と立体
駐車場の2か所ございます。
詳細は下記URLをご参照ください。

<http://www.buena-vista.co.jp/parking.html>

申込方法

下欄の申込書にご記入の上、FAXまたは
メール《 m_miyairi@shinshu-u.ac.jp 》にてお送りください。(12/9締切)

申込先

信州メディカル産業振興会 事務局
〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号 信州大学産学官連携推進本部内
Tel: 0263-37-3421
Fax: 0263-37-3425
E-mail: m_miyairi@shinshu-u.ac.jp
HP: <http://www.shinshu-u.ac.jp/group/smia/>

信州メディカル産業振興会 事務局行き (FAX:0263-37-3425)

「新生児・小児医療機器開発に関する講演会」参加申込書

企業名・機関名					
住所					
TEL			FAX		
参加者	職名		氏名		交流会 出・欠
	職名		氏名		交流会 出・欠
	職名		氏名		交流会 出・欠